

私の海外見聞録 番外編

《マンション生活など》

住所は Braemar hill mansion, North Point, Hong Kong で約 1500 世帯が居住。ゲートは 24 時間警備、入居当初顔が売れてないので 2・3 次会の遅い帰宅時は面倒、そのうち顔認証? が効き、手あげて OK。通勤は相乗りだが、朝は社用車が迎えに来た。

中庭やプールやテニスコートがある。近くに小公園、裏山にはトレッキング道があり、朝泳ぎ、商社マン家族とテニス、裏山を子供と散歩や走るなどした。

ゴルフ始めるも、練習場なく、リビングで素振りや、競技場が夜に打放可となり、球を打つ。今もバックスイングが浅いのはそのせいか?

《メンタル》

高専卒の多くが一度はメンタルを病んだと思う。理由原因は属人性と環境変化らしい。私の場合は業務間口 10 倍 × 言葉 = 20 倍の負荷に増えたと思っている。具体例を二つ。

- ① 9月末の赴任間もない 12 月で賞与査定する立場となる。総務経理シニアマネジャー (SM) が「勝田は査定できないから、こうしておいた、部下と面談し説得を」だ。日本と違い手交後の昼休みに互いの査定を示し合い、午後続々と「なぜ俺は彼より低いのか?」と詰め寄る。自分で査定でなく、「あの時こんな不具合をしただろう」のネタもない。査定初体験者にらい、自己主張が強い中国文化の洗礼を浴びた。
- ② 「SMは自分でするのではなく、部下にやらせることが仕事」の対応で困った。ゼネコンの担当から出図が遅い等々、英語より日本語ができる SM の私に電話してくる。よほど自分で処理しようかと思った。そんな毎日のある夜にクラブでばったり。散々言われたあげくに発注を取消と脅され土下座したこともある。その他も多々あり、約半年は落ち込んだ、ストレスで胃が動くのがわかった。その影響は今でも人間ドックで胃壁に石灰化部があると診断される。後の股聞きだが、①香港で家電営業マンがホテルの窓から飛び降りた、②台湾鉄道案件で顧客要望と日本上司意見の狭間に悩み自ら逝った、があった。

《克服対応策》

社長が一週間帰国てくれた。ある本に「借金で首吊る百姓はいるが、メンタルで逝くのはいない。裸足や素手に大地エネルギーをもらうからで、首にイカを下げるようになって逝く人が増えた」とあった。藁をつかむで、中庭を裸足で走り、犬糞やガラス破片を踏むことあったが、傷口から大地エネルギーが注入すると思い込んだ。

《アフター 5》

バブル期で随分カネを使った。日本国は金持ちだが、日本人は金持ちと思われて、夜はモテた。コーポレートカードが無い時代、個人カードで払い経理処理する。カード会社から「あなたはゴールドカード保有に相応しい…」の案内に申請し、帰国後も持っていた。年会費が度々高くなり、定年機会に解約した。

